

全国ユース 環境ネットワーク



全国ユース環境活動
発表大会
参加校募集中!!
詳細についてはP.3~4をご参照ください。

ご挨拶

平素は、環境行政に多大なご協力を賜り、感謝申し上げます。

環境問題は、地球全体の課題となっております。地球温暖化、廃棄物問題、生物多様性の保全など様々な環境問題を解決し、持続可能な社会を構築するためには「国民一人ひとりがどう取り組むか」が重要であり、できるだけ早い段階から環境教育に取り組んでいくことが重要であると考えます。

平成26年11月、日本政府とユネスコの共催により、「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」が愛知県名古屋市・岡山県岡山市で開催されました。その会議の中で、今後、次世代を担うユースの能力育成を図ることが重要との指摘があり、同年12月に国連総会で採択された「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラム」においても、「ESDへのユースの参加の支援」が優先行動分野の一つとして位置付けられました。

こうした経緯を踏まえ、この度、環境省と独立行政法人環境再生保全機構において「全国ユース環境ネットワーク促進事業」を創設しました。本事業は、ユースに対して、志を同じくする仲間や先輩等との交流や、活動を通じて得た学びを共有するネットワークを形成し、もってユースの能力開発を図ろうとするものです。

今般、その事業の一環として「全国ユース環境活動発表大会」を行うこととしました。本年度は、初年度ということもあり、高校生を対象として全国から環境活動を募集し、来年2月に行われる大会において、各自の創造力を生かした実践を発表いただきたいと考えております。

皆様方、特に学校関係者の方におかれましては、本事業の趣旨をご理解いただき、積極的な参加について格別のご配慮をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



環境省総合環境政策局長

三好 信俊

環境省担当者からのメッセージ

皆さんは、ESDを知っていますか？

ESDとは、Education for Sustainable Developmentの略称です。

「持続可能な開発のための教育」と訳します。分かりやすく言うと、持続可能な社会の担い手として、単に知識を得るだけでなく、問題解決に必要な「力」を磨くことを目的としています。

ESDで磨く「力」の一例



こうした力を磨くことで、日々の環境活動はより広がりのあるものとなり、未来へとつながっていきます。



町内イベントに合わせたクリーン活動の実施



子ども達と河岸整備や水辺の教室を実施



地域の保育園等を対象とした環境教室



持続可能な社会

事例提供：岡山県立矢掛高校（ユネスコスクール）

どんなに素晴らしい活動も、初めからそうであったわけではありません。

課題に「**気付き**」、解決の方法を「**考え**」、そして「**実践を繰り返す**」プロセスが大切です。

ただ、こうしたプロセスは、テレビや本で知ることはできません。同じような活動を行う人達が出会い、経験を分かち合うことで、学ぶことができると考えます。

そこで、私達が企画したのが「**ESD学びあいフォーラム**」です。国内外で活躍する先輩や仲間との分かち合いを通じ、皆さんがよりよい活動を行うための「**創造力**」を磨いてもらいたいと考えています。

「未来の環境を守りたい」。そういう強い志を持つ方の参加を心よりお待ちしております。

全国ユース環境活動発表大会

全国ユース環境活動発表大会とは？

持続可能な社会を実現するためには、1人ひとりが考え、行動することが不可欠です。特に、次の時代を担うユースが、早くから地球規模の環境問題に対する解決法を見い出していくことは大変重要なことです。地域には、ユースが発想力や行動力を発揮して行う環境活動が多数ありますが、そうした取り組みに更に深みと広がりを持たせるには、志を同じくするユースが一堂に会する「出会いの場」が必要と考えます。「全国ユース環境活動発表大会」は、環境省と独立行政法人環境再生保全機構が行う「全国ユース環境ネットワーク促進事業」の一環として、ユースが創造力を発揮して行う自らの環境活動の発表を通じ、相互研鑽の場を提供することを目的としています。今年度は、全国の高校生から環境活動を募集し、選考を経て各自の実践を発表する大会を東京で実施します。

環境
大臣賞

特に優れた活動発表を行った団体に対しては、環境大臣賞の授与などを行います。

※本年度は、高校生の活動を募集しますが次年度以降は、大学生等のユース全体まで対象を拡大する予定です。



大会参加校募集中！

大会概要

名称	全国ユース環境活動発表大会
主催	全国ユース環境活動発表大会 実行委員会 〈環境省〉〈独立行政法人環境再生保全機構〉 〈国連大学サステイナビリティ高等研究所〉
日程	2016年2月13日(土)～14日(日) (1日目) ESD全国学びあいフォーラム (2日目) 高校生などによる活動発表会、表彰式
会場	国連大学 ウ・タント国際会議場 〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5丁目53-70



参加校募集!



大会応募要項

募集内容

高校生が創造力を発揮して行う環境活動

環境の保全を目的として行う、自然保護活動、普及・啓発活動、調査研究活動など。受賞歴は問いません。



選考方法

外部有識者らによる選考委員会にて、発表校(20校程度)を選考します。

選考基準

- 高校生が自主的に企画・実践したものであるか。
- 地域のニーズや課題の本質を捉えたものであるか。
- 多様な人と協力・協調して解決するアプローチであるか。
- 取り組みが独創的であり、建設的なプロセスを経ているか。
- 活動を通じて得た学びを他者に分かりやすく伝えられるか。



表彰 (予定)

- ① 環境大臣賞
- ② 地球環境基金賞
- ③ 特別賞 (全国大会参加の高校生による選考)
- ④ 特別賞 (全国大会参加の先生による選考)

応募方法

本誌に同封されている応募・実施概要問合わせ用紙を事務局へFAXしてください。

資料請求のあった学校に対し、事務局より参加申込書および全国大会実施要領を送付します。実施要領を熟読の上、参加申込書に必要な事項をご記入の上、下記応募先までお送りください。

※提出した書類は返却しませんので、ご注意ください。

応募先

独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金部内 全国ユース環境ネットワーク事務局
TEL:044-520-9505 FAX:044-520-2192
Email: youth@erca.go.jp



応募・実施概要問合わせ用紙

応募締切

2015年12月4日(金) 必着

ユース環境活動のご紹介

若者たちが中心となって活動しているNGO団体をピックアップ! 彼らの活動をご紹介します。



ユースラムサールジャパン

“湿地の大切さを全国のユースに伝えたい”

「ユースラムサールジャパン」は、日本各地の湿地で活動する中学生から大学生の「ユース世代」による団体で、湿地を通じた交流や体験、学習を行っています。小学生のころから湿地で活動していた子どもたちの「中学・高校生になっても他の湿地を体験し交流する活動を続けていきたい」との思いから「ユースラムサールジャパン」が設立されました。

「ユースラムサールジャパン」の活動目的は、人間の生活ととも深く関わっている

湿地を守りつつも湿地にある資源を賢明に利用していくために、自ら湿地に対する正しい知識を学び、多くの同世代のユースや子どもたちに伝えることです。

2015年5月に藤前干潟(名古屋市港区)で行った「ユースラムサール交流会」では、その前年の2014年秋に行った「YOUTH会議」(藤前干潟ふれあい事業実行委員会主催)で、ユースたちで立案した“干潟に親しんでもらうためのプログラム”である『干潟まつり』を実施。企画や準備、当日のスタッフまで、

すべてユースを中心に行い、一般の家族連れ40名を藤前干潟に案内しました。

その他、交流会では参加者同士で議論する時間を設け、ユースならではの視点で湿地の良さや問題点を議論しています。このような議論を行う中で多くの人に湿地に親しみ、知ってもらうためのアイデアを考え、実践しています。今後、さらに多くの人に湿地の楽しみ方や、湿地の魅力や大切さを伝えていける活動にしていきたいと考えています。



f ユースラムサールジャパン (Youth Ramsar Japan)



Climate Youth Japan

“未来を変える若者「ミスター気候変動」”

Climate Youth Japan (CYJ) は、2009年コペンハーゲンで開催された「気候変動枠組条約第15回締約国会議(通称COP15)」に参加した日本のユースが中心となって設立。大学生と若手社会人が中心となって活動しているネットワーク型NGOです。2015年3月に5周年を迎えました。

CYJのキーワードは、「気候変動」「政策」「ユースの意見発信」。社会の中で若者が声を上げることにより、気候変動問題の解決を通じた衡平で持続可能な社会の実現をめ

ざしています。全国各地で定期的なワークショップの開催や、キャンペーン活動、海外ユースとの交流・活動、COP派遣事業などを企画・運営しています。

1. COP21 プロジェクト

世界の気候変動問題の将来を左右する国際会議の現場に立ち、世界各国から集まるユースと活動します。今年12月にパリで開催されるCOP21に向け、アクション・政策提言・メディアの3つのチームに分かれ

て作戦を練っています。世界に何を発信し、日本に何をもち帰るか?

2. 気候変動政策作成コンペティションの開催

全国のユースが政策を作成し、それを集めたコンペの開催を予定しています。このような機会を経て、日本のユース同士が交流するだけでなく、ユースと社会との関わりを増やし、自分自身で描いた政策や意見を社会に発信していく意見発信の場を作り上げていきます。



活動の最新情報はCYJのHPやFacebookからチェックしてください!

<http://climateyouthjapan.org/>

f climateyouthjapan





たった一つの生命の星で、これからもずっと生きていくために。

「地球一個分」で暮らそう！

出発点は「あたりまえの願い」

自分や家族や友人のために、少しでも暮らしをよくしたい。それは誰もが持つ、あたりまえの願いです。ただ、その結果、人間はより多くの資源を使い、より広い面積の自然を開発するようになりました。

さらに、世界的に人口が増えていることや、徒歩や馬で行ける範囲だった経済活動が、車や飛行機で動ける範囲まで広がっていること…。人間が自然を利用する割合が増えている原因は、いくらでも挙げることができます。

しかし一方で、地球の大きさは同じまま。地球が持つ「生産力」、たとえば、木々が育ったり、草が生えたり、魚が育ったり、大気中に放出された二酸化炭素 (CO2) を吸収したりする力は、基本的には大きく変わりません。そのため、1970 年ごろから、増え続ける人類の「消費」が、徐々に地球の「生産」力を上回るようになってきました。

皆の工夫で「地球一個分」に

WWF は、さまざまなデータに基づいて、人類の「消費」が地球の生産力の 1.5 倍に達していると試算しています。つまり、地球 1 個では足りなくなっているのです。これは、未来の世代の人々のために残しておくべき資源まで、使ってしまったことに他なりません。とはいえ、自然が産み出す資源を、まったく使わずに生きていくことも不可能です。

大切なのは、地球の生産力を上回らない範囲に、人間の消費が収まるようにすることです。魚を獲りすぎないようにルールを決めたり、自然エネルギーへの切り替えを進めるといった「大きな取り組み」はもちろん、ごみを減らしたり、省エネルギーを徹底するなど、「誰もができる取り組み」も欠かせません。

さまざまな工夫によって「地球一個分の暮らし」を実現すること。それは、今を生きる私たちに託された大きなチャレンジなのです。

- ▶ 2014年8月から2015年7月にかけて、WWFは、テレビやラジオなどで「地球が2つ必要です」という広告を流し、「地球一個分で暮らそう」と呼びかけてきました。これはAC (公共広告機構) の支援を受けて実現したものです。

WWF ジャパン (公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン)

〒105-0014 東京都港区芝 3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6F
TEL:03-3769-1714 (広報室: 平日 10:00 ~ 17:30) FAX:03-3769-1717
E-mail:communi@wwf.or.jp



私たちはWWFです
人と自然が調和して生きられる未来をめざして、地球環境の悪化をくい止めるさまざまな活動を実践しています。

www.wwf.or.jp

全国ユース環境ネットワーク

地球環境基金とは

1980年代後半以降、地球環境問題が深刻化する中、1992年6月、ブラジルのリオデジャネイロにおいて「環境と開発に関する国連会議」(地球サミット)が開催され、国や地方公共団体、企業だけでなく民間の非営利団体(NGO・NPO)による取り組みの重要性が認識されました。

これを受けて、日本では当時の環境庁が中心となり、民間団体(NGO・NPO)による環境保全活動への支援を行い環境保全に向けた国民的運動の展開を図ることを目的として、1993年5月に「地球環境基金」が創設されました。

基金ちゃんのご紹介



「地球環境基金を
よろしきゅ
お願いします!」

「基金ちゃん」は、NGO・NPOの環境保全活動への支援を目的とした地球環境基金の事業を、より身近なものとして、広くみなさまに知っていただくために誕生しました。

一人ひとりの思い(ハート)を集めた
大きな力が私たちの将来の世代が
豊かに生きていける地球環境を
支えています。

《基金ちゃんプロフィール》

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ●名まえ：基金ちゃん | ●チャームポイント：つぶらなひとみ |
| ●生年月日：?? | ●今年の目標：地球環境基金を広める |
| ●住まい：神奈川県川崎市 | ●趣味：募金活動 |
| ●身長・体重：50cm・kg | ●よく行くところ：環境イベント会場 |
| ●家族構成：地球のみんな | ●特技：ダンス(世界中の踊りが踊れます) |
| ●好きなことば：地球のためにできること! | ●語学：10ヶ国語が話せます |

事務局だより

この度、全国ユース環境ネットワークの事務局を担うこととなりました、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金です。

独立行政法人環境再生保全機構は、環境省所管の法人であり、私たちは、環境分野の政策実施機関として良好な環境の創出と保全に努め、地球規模で対策が必要となる環境問題に対し、機構が有する能力や知見を活用して、国内外からのさまざまな要請に応えることにより、真に環境施策の一翼を担う組織となることをめざしています。

地球環境基金では環境NGO・NPOが行う地球温暖化防止、生物多様性保全などの環境保全活動に対して毎年助成を行っています。(平成27年度：207団体、総額約6.5億円) 私たちは環境NGO・NPOの活動の更なる支援の充実を図るとともに、環境保全活動を行う次世代の人材育成にも力をいれることで、より持続可能な社会の実現を目指しています。

地球環境基金の運営は、国からの出資金と民間や市民の皆さまからの募金や寄付金によって基金を設け、その運用益と国からの運営費交付金を用いて、日本国内外のNGO・NPOが行う環境保全活動へ支援を行っています。事務局では本事業でユースの可能性を信じ、それを最大限発揮できるようにサポートいたします。

Twitter

地球環境基金ではツイッターで
情報発信を行っています。



アカウント名 地球環境基金
アカウントID @ERCA_kikin
URL http://twitter.com/ERCA_kikin



全国ユース環境ネットワーク事務局スタッフ

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部

URL : <http://www.erca.go.jp/jfge> Email: youth@erca.go.jp
所在地: 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー8F
TEL : 044-520-9505 FAX : 044-520-2192

